

(1) An operation console comprising a substantially box-shaped operation console body which has a top plate on which a number of control devices, such as a switch or a fader are provided, the operation console being placed on a table, etc. for purposes of controlling targets by means of operating control apparatuses, the operation console characterized in that a plurality of concave portions are provided near the side face of the bottom face of the operation console body so that a plurality of fingers can be hooked on to the side face of the operation console, and that side openings that are provided adjacent to the concave portions have a depth that is less than those of the concave portions.

⑩ 日本国特許庁(JP)

⑪ 実用新案出願公開

⑫ 公開実用新案公報(U)

平3-90480

⑬ Int.Cl.³

H 05 K 5/02

識別記号

S

庁内整理番号

6835-5E

⑭ 公開 平成3年(1991)9月13日

審査請求 有 請求項の数 1 (全2頁)

⑮ 考案の名称 操作卓

⑯ 実 願 平1-153069

⑰ 出 願 平1(1989)12月27日

⑱ 考 案 者 松 下 幸 詞 大阪府門真市大字門真1048番地 松下電工株式会社内

⑲ 出 願 人 松下電工株式会社 大阪府門真市大字門真1048番地

⑳ 代 理 人 弁理士 佐藤 成示 外1名

㉑ 実用新案登録請求の範囲

略箱状の操作卓本体の天板にスイッチやフェーダー等の制御器を多数並設し、テーブル等の台上に載置されて制御器の操作により被制御物を制御する操作卓において、操作卓本体の底面の側面近傍に複数の凹部を設け、操作卓本体の側面に複数の指を掛けることができ前記凹部より深さが浅い側方開口を前記凹部に連設したことを特徴とする操作卓。

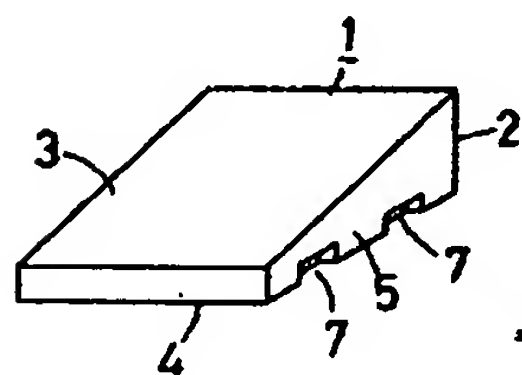
図面の簡単な説明

第1図ないし第6図は本考案の実施例を示すものであり、第1図は斜視図、第2図はテーブルに載置した状態の要部断面正面図、第3図は載置台

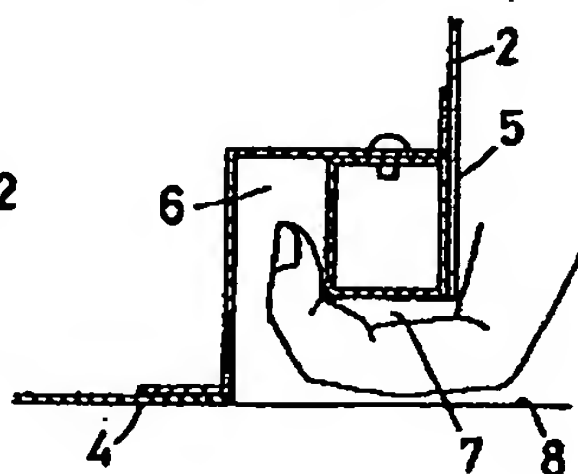
と結合した状態の斜視図、第4図は載置台の要部斜視図、第5図は載置台への結合操作時の要部断面正面図、第6図は載置台と結合した状態の要部断面正面図である。第7図及び第8図は本考案の対象とする操作卓のそれぞれ異なる使用状態を示す側面図である。第9図及び第10図は本考案に対する従来例を示すものであり、第9図はテーブルに載置した状態の斜視図、第10図は同じく正面図である。

1……操作卓、2……操作卓本体、3……天板、4……底面、5……側面、6……凹部、7……側方開口、9……載置台、10……載置部、11……凸部。

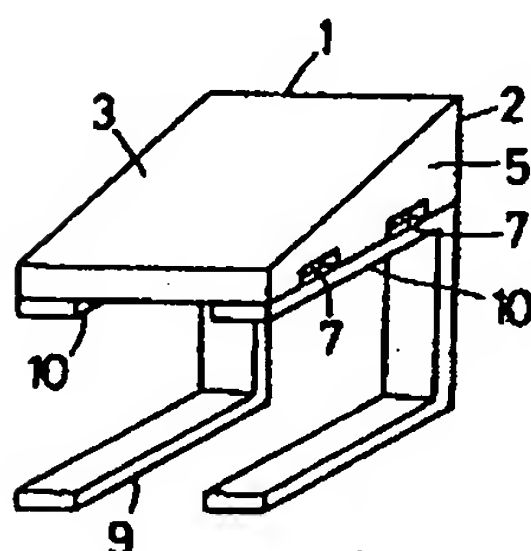
第1図



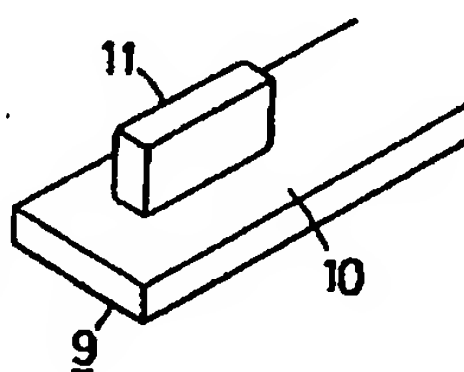
第2図



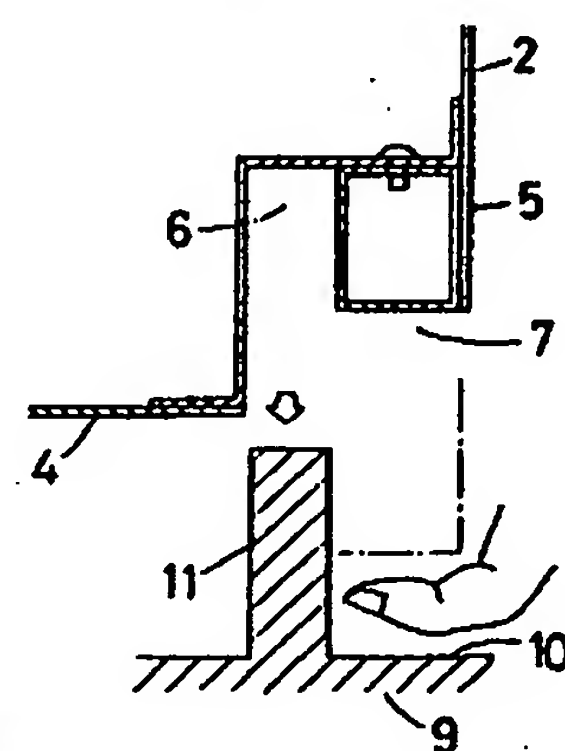
第3図



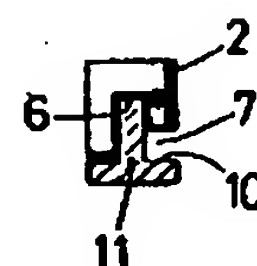
第4図



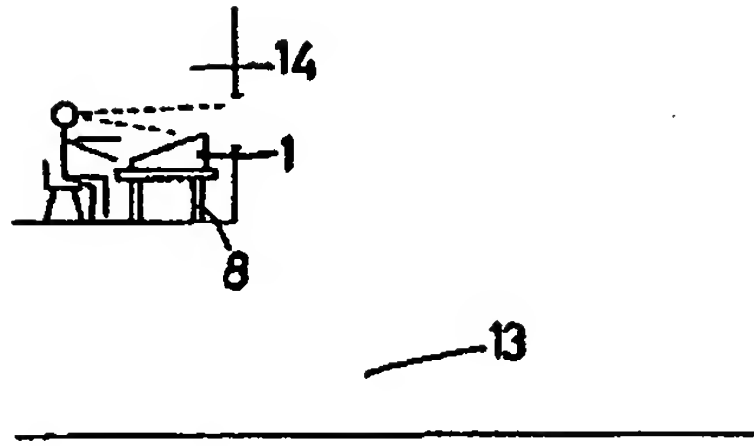
第5図



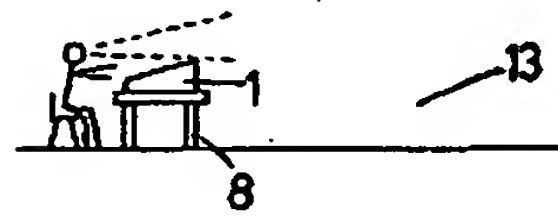
第6図



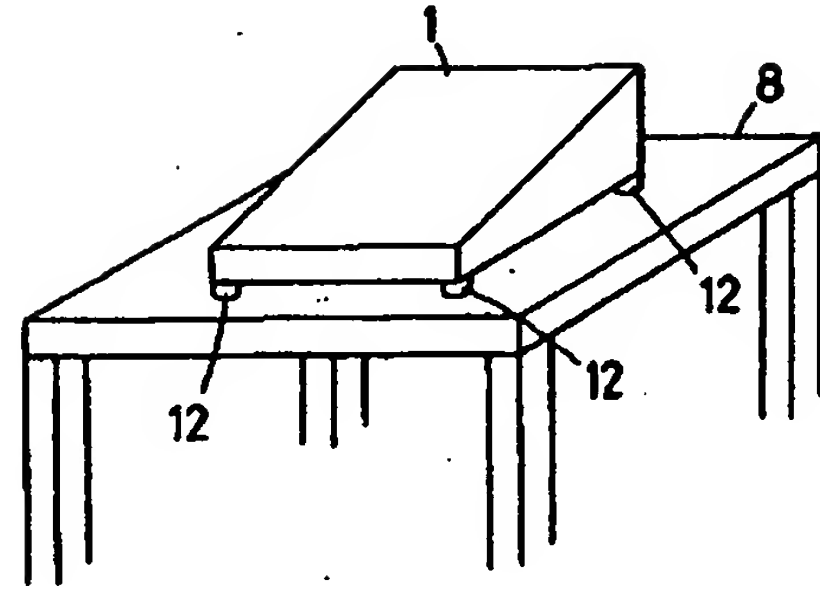
第7図



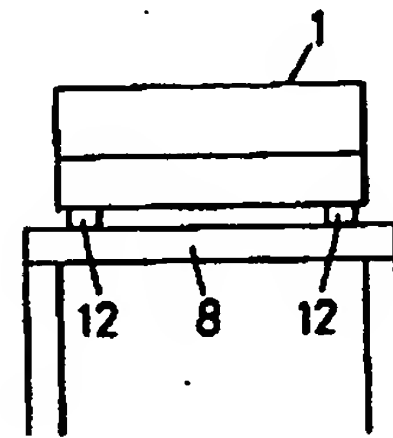
第8図



第9図



第10図



公開実用平成 3-90480

⑩ 日本国特許庁(JP)

⑪ 実用新案出願公開

⑫ 公開実用新案公報(U)

平3-90480

⑬ Int. Cl.⁵

H 05 K 5/02

識別記号

S

庁内整理番号

6835-5E

⑭ 公開 平成3年(1991)9月13日

審査請求 有 請求項の数 1 (全 頁)

⑮ 考案の名称 操作卓

⑯ 実 願 平1-153069

⑰ 出 願 平1(1989)12月27日

⑱ 考 案 者 松 下 幸 詞 大阪府門真市大字門真1048番地 松下電工株式会社内

⑲ 出 願 人 松下電工株式会社 大阪府門真市大字門真1048番地

⑳ 代 理 人 弁理士 佐藤 成示 外1名

明 細 書

1. 考案の名称

操作卓

2. 実用新案登録請求の範囲

(1) 略箱状の操作卓本体の天板にスイッチやフェーダー等の制御器を多数並設し、テーブル等の台上に載置されて制御器の操作により被制御物を制御する操作卓において、操作卓本体の底面の側面近傍に複数の凹部を設け、操作卓本体の側面に複数の指を掛けることができ前記凹部より深さが浅い側方開口を前記凹部に連設したことを特徴とする操作卓。

3. 考案の詳細な説明

〔産業上の利用分野〕

本考案は、照明演出のための調光制御用等に使
用される操作卓に関するものであり、特に移動さ
せることのできる操作卓にかかるものである。

〔従来の技術〕

一般的に、照明演出のための調光制御用に使
用される操作卓 1 は、第 7 図に示すように、ホー

ルやホテルの宴会場等の被制御物が配備された会場 1 3 の後ろ上方に設けられた操作室 1 4 内に設置されたり、第 8 図に示すように、会場 1 3 内に設けたブースに設置される。そして、操作卓 1 に向かった操作者は、操作卓 1 ごしに会場 1 3 を見ながら催しの進行に合わせて操作卓 1 を操作する。

従来、移動させる必要のある芭蕉で使用される操作卓 1 は、第 9 図及び第 10 図に示すように、前下がりに傾斜してスイッチやフェーダー等の制御器が設けられた天板 3 を有する操作卓本体 2 は、底面 4 にゴムや弾性樹脂で形成された載置用足 1 2 が 4 ないし 6 個取り付けられており、この載置用足 1 2 により操作卓 1 を移動させる際に指が入るようにテーブル 8 との間に隙間を形成して市販のテーブル 8 に載置して使用されるようになっている。

〔考案が解決しようとする課題〕

ところが、このような操作卓 1 では、操作卓本体 2 自体の高さに載置用足 1 2 の高さが加わって高さが高く、操作者の操作卓 1 ごしの前方見通し

が損なわれ、特に会場 1 3 より高い位置にある操作室 1 4 に操作卓 1 が設置されている場合には、会場 1 3 の手前部分が見えにくくなる恐れがあるという問題があった。

また、市販のテーブル 8 に載置しているだけなので、操作卓 1 が動きやすく操作卓 1 を固定する必要がある場合に不都合であった。

本考案は、前記の背景に鑑みてなされたものであり、その目的とするところは、移動が可能で高さを低くすることのできる操作卓を提供することにある。

〔課題を解決するための手段〕

本考案による操作卓は、略箱状の操作卓本体の天板にスイッチやフェーダー等の制御器を多数並設し、テーブル等の台上に載置されて制御器の操作により被制御物を制御する操作卓において、操作卓本体の底面の側面近傍に複数の凹部を設け、操作卓本体の側面に複数の指を掛けることができ前記凹部より深さが浅い側方開口を前記凹部に連設したものである。

〔実施例〕

第 1 図ないし第 6 図は本考案の実施例を示すものであり、以下図面に基づき説明する。

この操作卓 1 は、略箱状の操作卓本体 2 の内に制御すべき照明負荷の数に応じた調光器を内蔵し、操作卓本体 2 の天板 3 に設けられた図示しないフェーダーやスイッチ等の制御器を操作して調光器を調節し、各照明負荷を調光制御して照明演出を行うためのものである。

操作卓本体 2 は、操作性を良くするために天板 3 が前方下がりに傾斜した略箱状に塗装薄板鋼板等で形成されている。操作卓本体 2 の底面 4 には、両側面 4 に近接してそれぞれ 2 ヶ所づつ凹部 6 が形成されている。この凹部 6 に隣接して、凹部 6 の奥行きと同じ奥行きと凹部 6 の深さの略半分の深さで複数の指を掛けることのできる側方開口 7 が、両側面 5 の下端に設けられている。

この操作卓 1 を専用の載置台 9 に載置して使用する際には、第 3 図ないし第 6 図に示すように、側面からみると略コ字形をなす載置台 9 の載置部

10 上面に、操作卓本体 2 の前記凹部 6 に比較して幅及び奥行きがやや小さく高さが略等しい係合用の凸部 11 を設け、この凸部 11 を操作卓本体 2 の凹部 6 に係合させて互いを結合一体化して使用できるようにしている。従って、操作卓 1 を載置台 9 に載置して互いを結合一体化する際に、操作卓本体 2 の両側面 5 の側方開口 7 により凹部 6 の位置がわかり、結合一体化の作業性が良好である。

また、この操作卓 1 を市販のテーブル上に載置して使用する際には、第 2 図に示すように、操作卓本体 2 の底面 4 の略全体がテーブル 8 の天面に当接した状態となるが、操作卓本体 2 の両側面 5 に設けた側方開口 7 から凹部 6 にかけて指を掛けることができ、操作卓 1 を移動させる必要がある場合にも指をかけて移動させることができる。また、従来のような載置用足 12 が不要なので操作卓 1 の高さを低くでき、操作者の前方見通しが良くなる。

なお、この操作卓は調光制御用にとどまらず、

他の制御用であってもよい。また、操作卓本体の天板は前下がりだけでなく、底面と略平行なものであってもよい。

〔考案の効果〕

本考案は前述の通り構成されているので、操作卓を移動させる必要がある場合でも側方開口から凹部に指を掛けて移動が可能でありながら、載置用足を無くして高さを低くでき操作者の前方見通しを良くできる操作卓を提供することができる。

4. 図面の簡単な説明

第1図ないし第6図は本考案の実施例を示すものであり、第1図は斜視図、第2図はテーブルに載置した状態の要部断面正面図、第3図は載置台と結合した状態の斜視図、第4図は載置台の要部斜視図、第5図は載置台への結合操作時の要部断面正面図、第6図は載置台と結合した状態の要部断面正面図である。第7図及び第8図は本考案の対象とする操作卓のそれぞれ異なる使用状態を示す側面図である。第9図及び第10図は本考案に対する従来例を示すものであり、第9図はテーブ

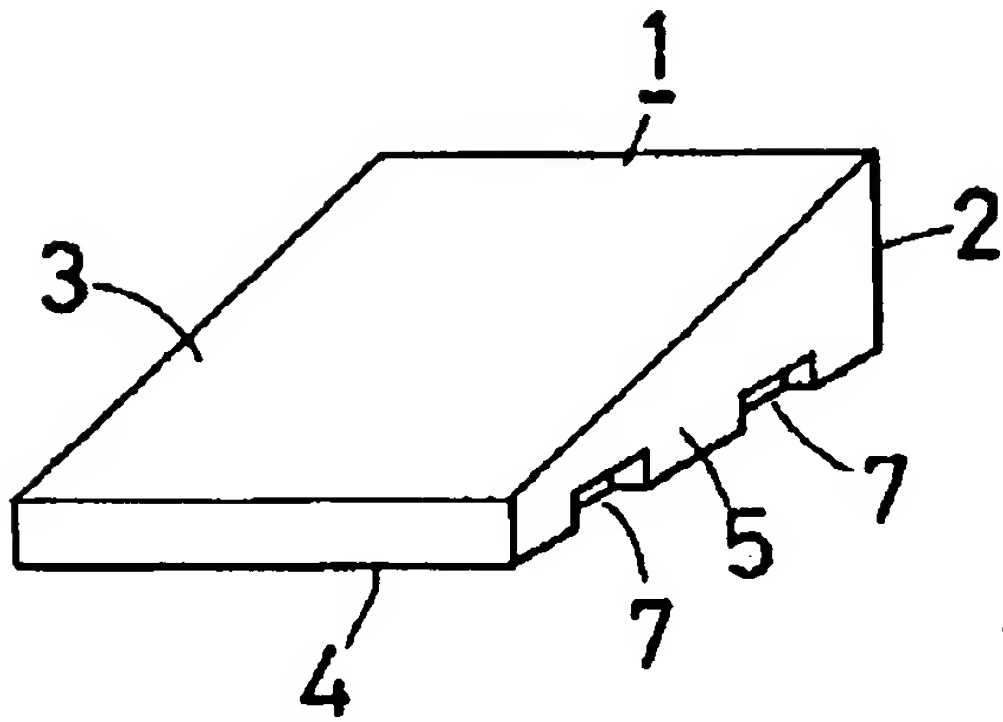
ルに載置した状態の斜視図、第 10 図は同じく正面図である。

1……操作卓、2……操作卓本体、3……天板、4……底面、5……側面、6……凹部、7……側方開口、9……載置台、10……載置部、11……凸部。

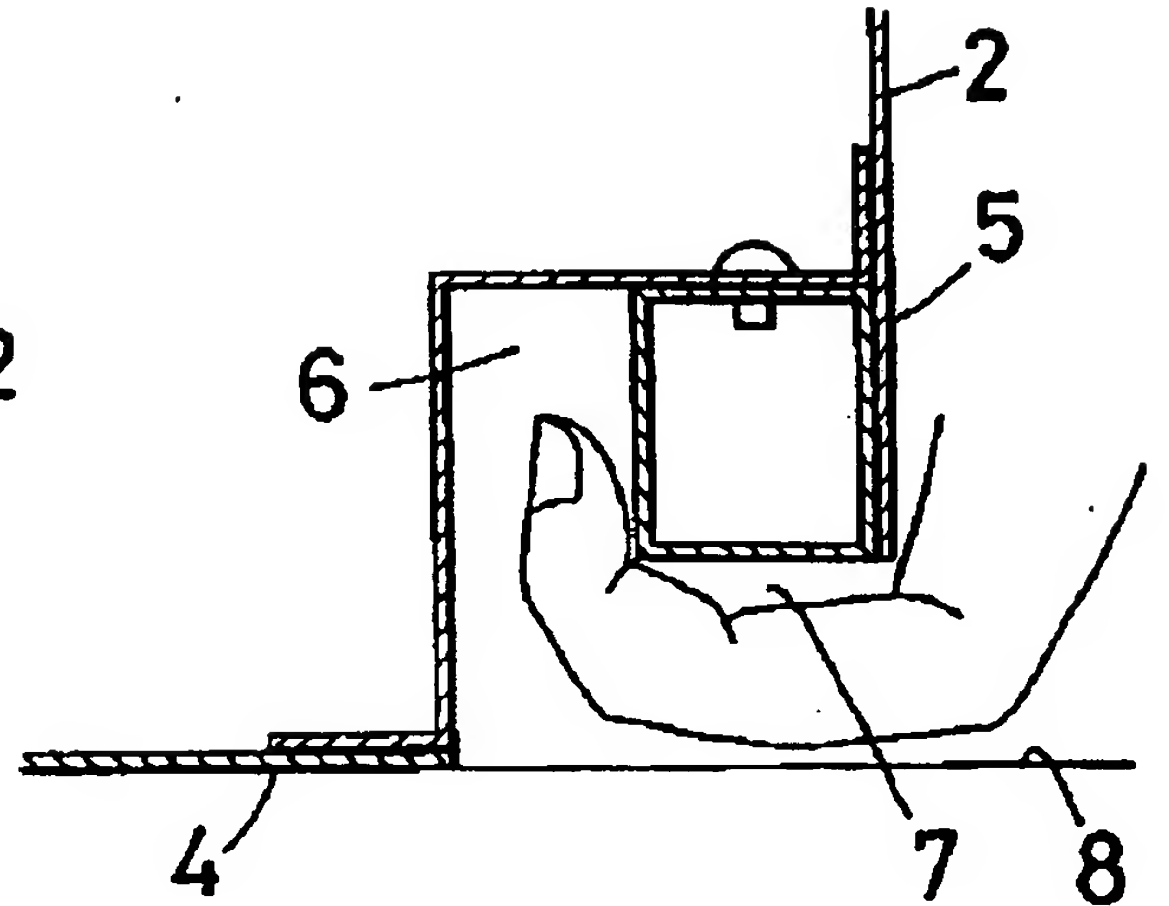
出願人 松下電工株式会社

代理人 弁理士 竹元敏丸（ほか 2 名）

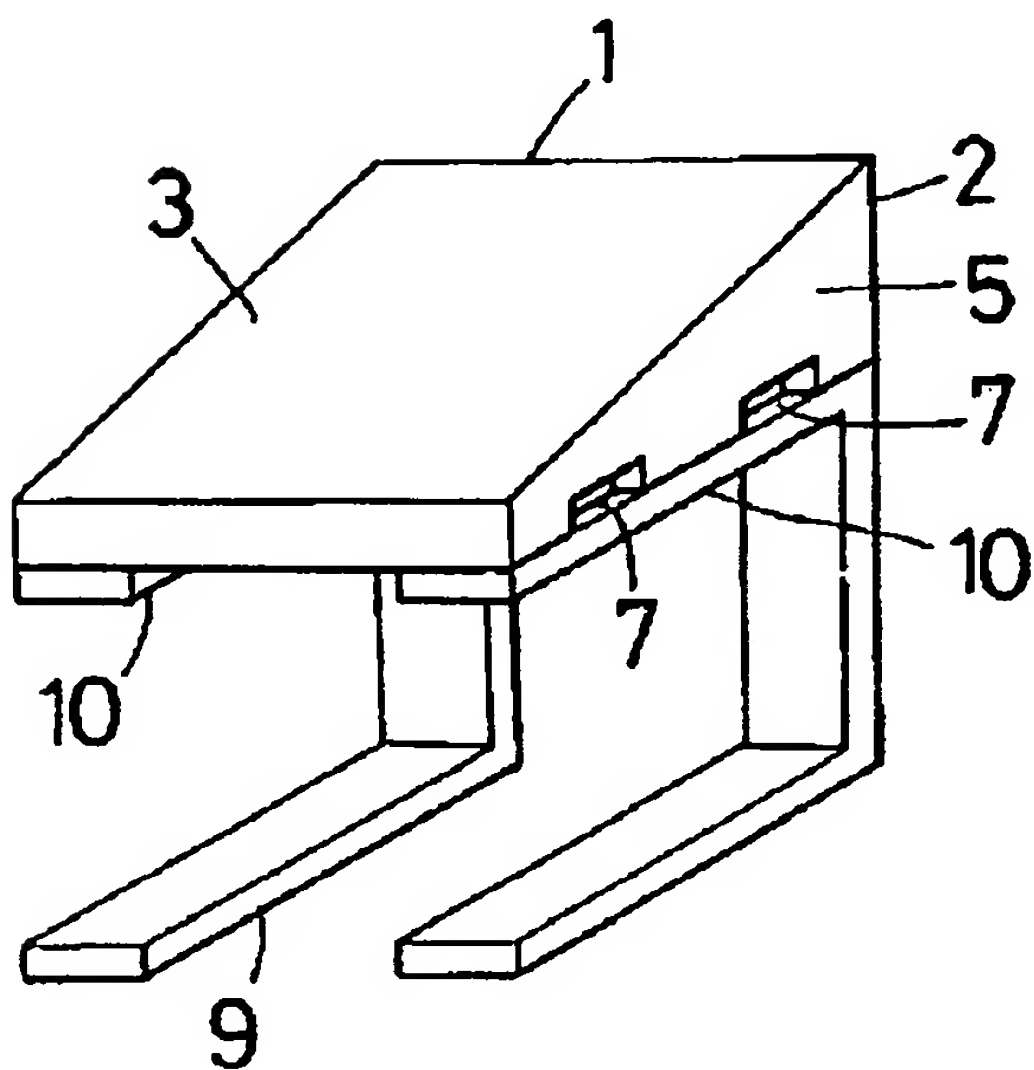
第 1 図



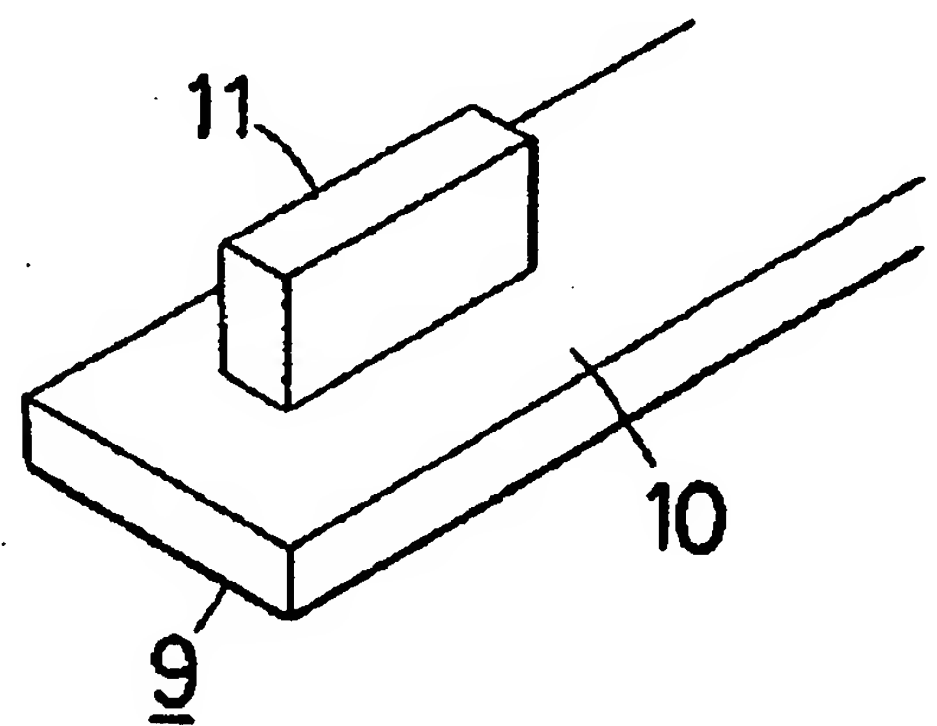
第 2 図



第 3 図



第 4 図



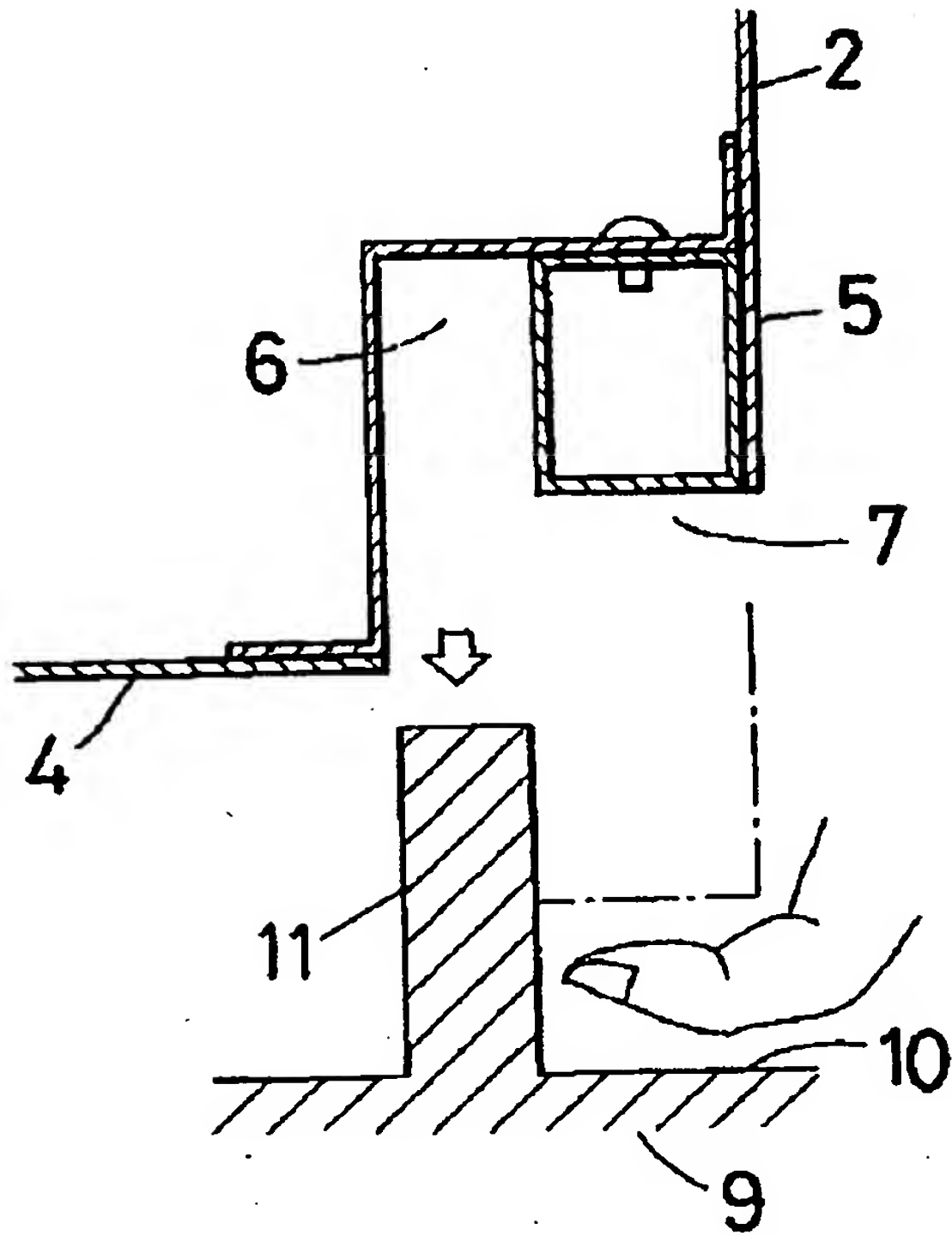
実開3- 90480

901

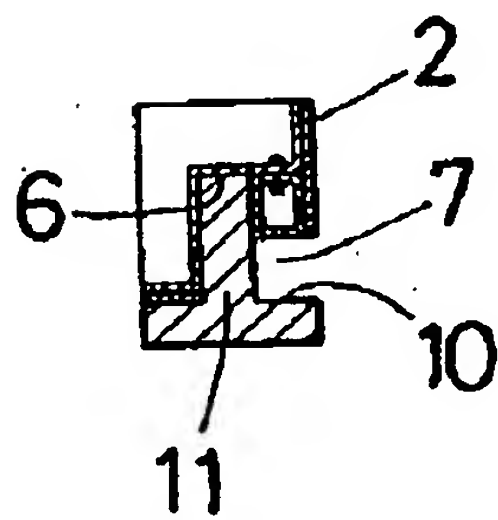
代理人 井理士 竹 元 敏 丸 外 2 名

01-236E/626

第 5 図



第 6 図



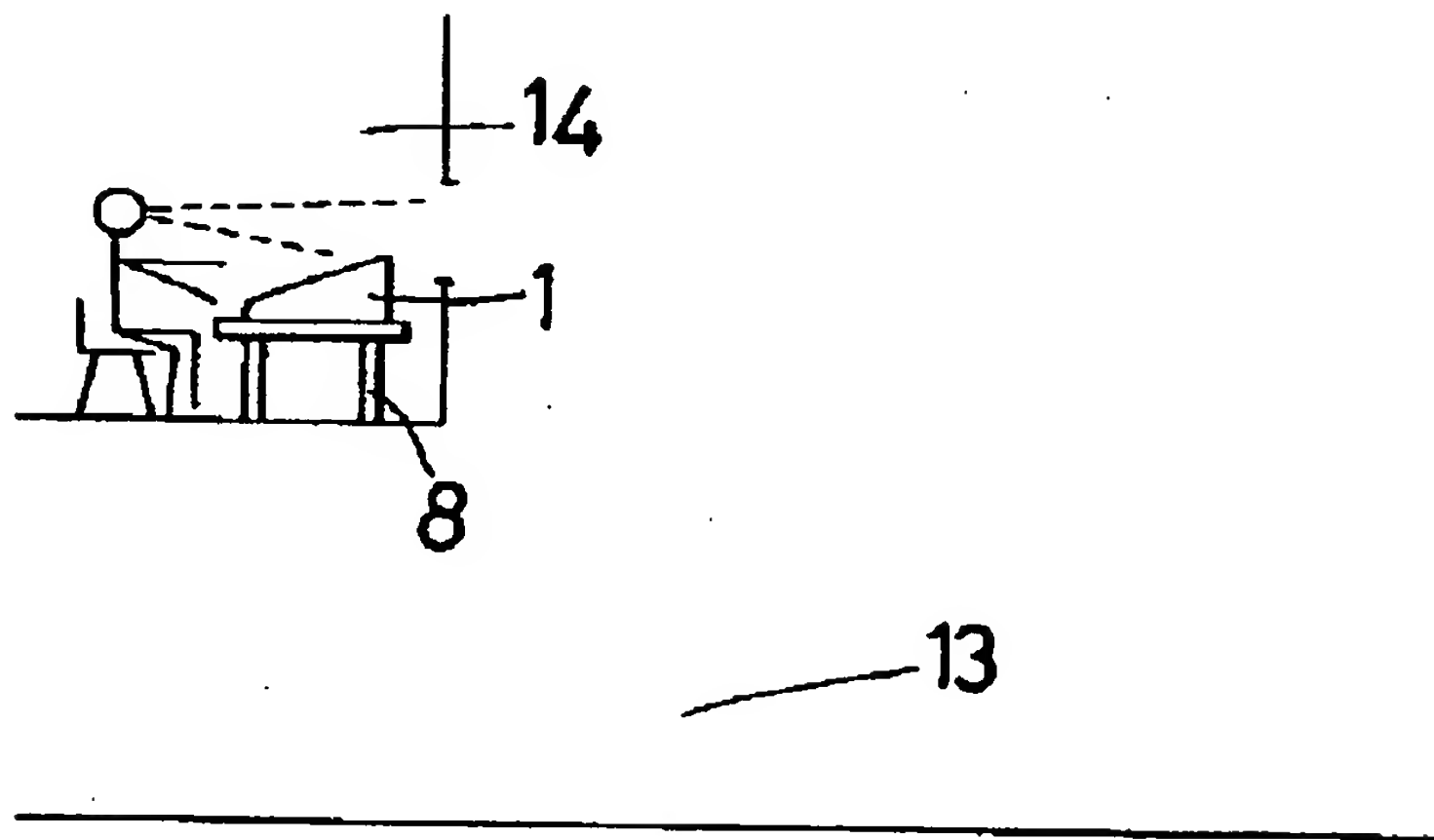
実開3- 90480

902

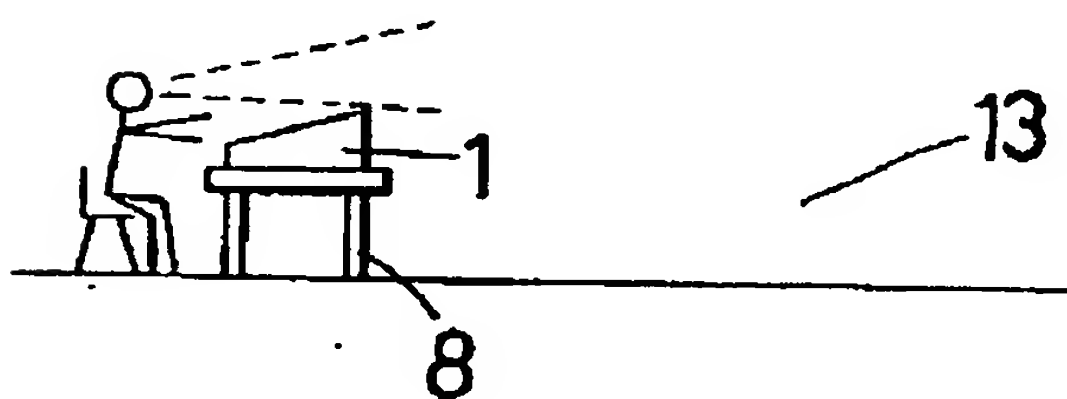
代理人 井理士 竹 元 敏 丸 外2名

01-236E1626

第 7 図



第 8 図



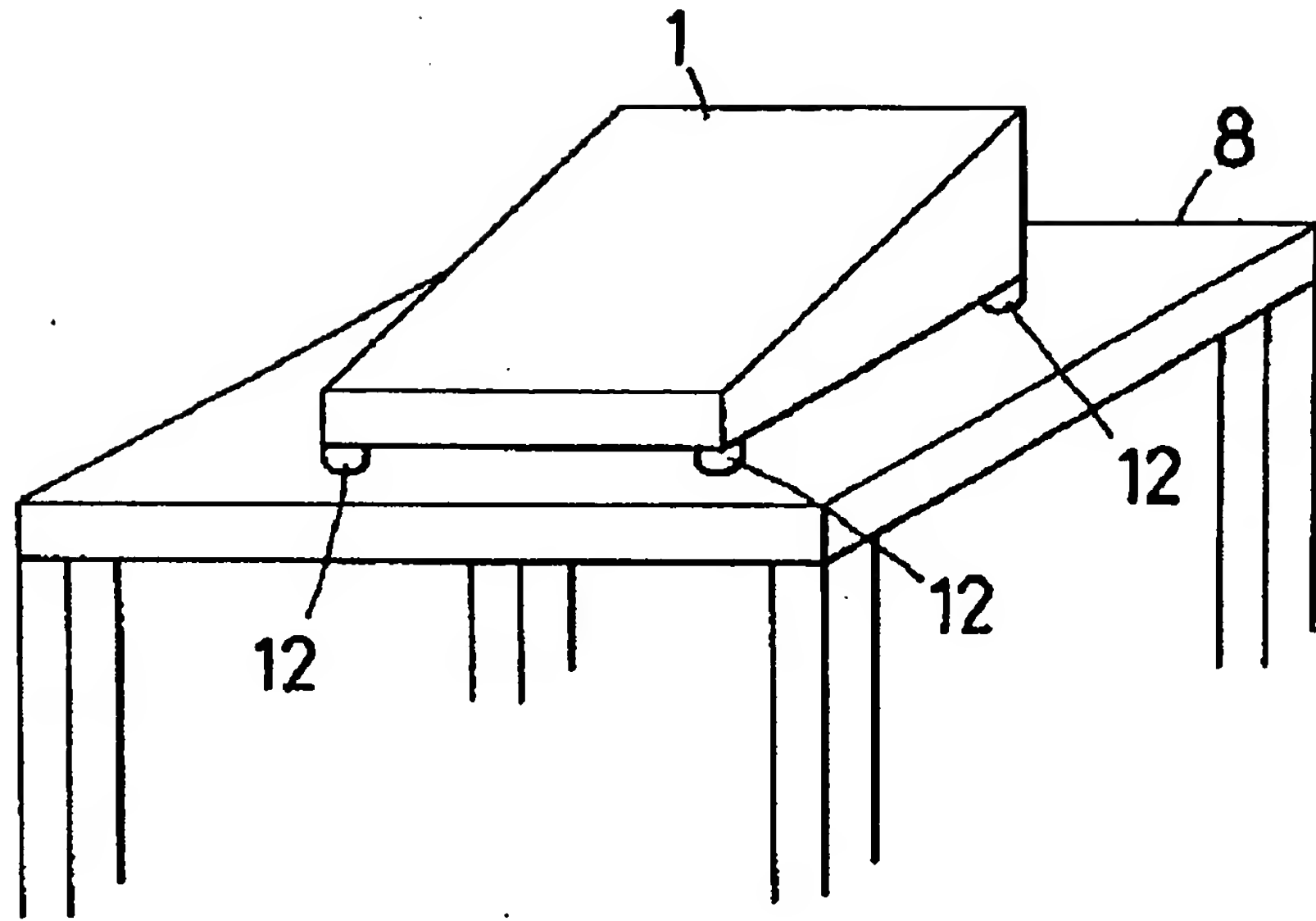
実開3- 90480

943

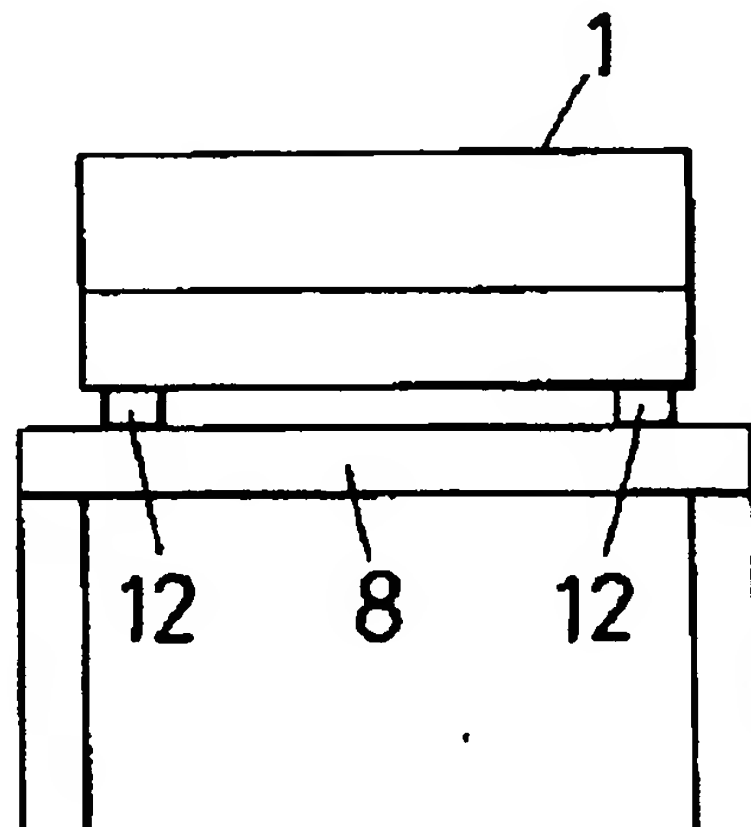
代理人 井理士 竹 元 敏 丸 外2名

01-22651626

第 9 図



第 10 図



実開3 - 90480

904

代理人 井理士 竹 元 敏 丸 外2名

01 - 22651626